

県社会福祉に関する要望への対応状況（令和4年6月）

新規 継続	要 望 事 項
【2】	政策要望
継続	<p>1. <u>歩行移動の安全確保について</u></p> <p>視覚障害者の安全な歩行に欠かせない、誘導ブロックや音響（音声）付き信号機、エスコートゾーンの設置に加え、駅ホームの内方線付き点字ブロックや転落防止用ホームドアの整備が、命を守るための喫緊の課題となっています。</p> <p>点字ブロックや音響付き信号機等は福祉施設周辺に優先的に設置されていますが、地域で暮らす視覚障害者から要望があれば、生活圏にも優先的に設置してもらえるようお願いいたします。</p>
対応 状況	<p>【<u>警察本部</u>】</p> <p>令和4年度予算 23,122 千円（特定交通安全施設整備費）</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度末現在で、ピヨピヨ・カッコーなどの音で歩行者の青時間継続を知らせる信号機（視覚障害者用付加装置）を 452 基、「信号が青になりました」等の音声で歩行者へ信号が変わったことを知らせる信号機（音響式歩行者誘導付加装置）を 103 基、合計 555 基の音響付き信号機を整備しております。 県警察で整備したエスコートゾーンは、令和3年度末現在で合計 40 本となります。 <p>【<u>土木部</u>】</p> <p>令和4年度予算 34,500 千円 （道路橋梁維持費、自転車歩行者道等交通安全施設費）</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村のバリアフリー基本構想に基づく重点整備地区を中心に、市町村と連携しながら、歩道への視覚障害者誘導ブロック設置や段差改善等を行っております。 <p>【<u>政策企画部</u>】</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅ホームからの転落事故防止設備の整備について、沿線市町村等と連携を図りながら、鉄道事業者に対し要望を行ってまいります。 <p>※ 内方線付き点状ブロックについては、国で目標とする1日あたり利用者数1万人以上の駅について、県内の全駅で整備済。</p>